

読んで健康・集めて健康

# 健康渋谷人

愛と希望の済生会  
東京都済生会  
渋谷診療所  
健康情報紙 No.22

編集・発行◎東京都済生会渋谷診療所 渋谷区渋谷3-2-3帝都青山ビル2階 tel.03-3407-0895  
発行日2007年11月5日 <http://www.saiseikai-shibuya-clinic.jp>

済生会は医療の理想を実現し未来へつなぐ地域医療を担います。

## インスリン注射に アルコール消毒は不要

22年前ですが、ミネソタ州の小児糖尿病サマーキャンプを訪ねました。泥んこになって遊んできた子どもたちが、アルコール綿で消毒もしないでインスリンを注射しているのを見て驚きました。小児科の教授は「アルコール消毒は儀式みたいなものですよ」と笑っていました。インスリン製剤には人体に無害な程度のごく微量の石炭酸が混せてあるので、インスリン溶液の中で細菌が繁殖することはありません。したがって、注射したインスリンが原因で化膿することはありません。石炭酸の殺菌力は非常に強く、効かないのは炭疽菌かボツリヌスくらいです。

13年前、ポストン・レッドソックスのホームグラウンドの近くにある世界的に有名な糖尿病専門病院（ジョスリンクリニック）を訪ねました。アルコール消毒について、やはり「そうなんだ」といい、「神経質な患者のために病院内でも二重置いてはいるが」とのことでした。その時聞いたストーリーが傑作でした。「コンボイの運転手が糖尿病で、インスリンを打っているから、低血糖にならないようにコーラを飲みながら運転し、Gパンの上から何ら消毒もしないで、大腿に注射していたが、一度も感染しなかった。ただ一回だけ化膿したことがあるのは、怪我でポストン市立病院に入

院して、ナースに打ってもらったときだった。」ということです。出来すぎた話ですが真理だともいえます。

帰ってきて、「済生会でもインスリン注射や自己血糖測定アルコールによる皮膚消毒をやめようよ」といったら、当時の院長から「それはちょっと早すぎる、患者さんが来なくなるぞ」というので、やめました。

最近になって、欧米でも日本でも、インスリン注射や血糖自己測定にアルコール消毒なしでも感染はほとんど皆無だ、という結果が数千例から2万人規模の調査から出てまいりました。当診療所でも皮膚のアルコール消毒は積極的には勧めないことにしました。とくに、ご年配の方で、「注射を打った場所が痒い」のはアルコールによる皮下脂肪の脱失のせい、必ずしもアレルギー反応ではありません。また、血糖自己測定の採血をする指の皮膚が硬くなることにもアルコールが関係しており、手をよく洗ひ、採血の後はティッシュペーパーで押さえるので十分です。家庭でカット綿にアルコールを注いで作った酒精綿は数時間から1日も経つとアルコールが蒸発して、水になっていますから、濡れタオルで拭いていたのと変わりがなかったわけです。

インスリン注射にどうしてもアルコール消毒したいという方には、蒸発しないようパックしたアルコール綿をお渡しいたしますのでお申し出ください。

東京都済生会渋谷診療所 所長

松岡健平